市民〝市政〟を大きな力に

市民のみなさん、明けましておめでとうございます。

今年で、市政施行二十五周年を迎えました。かえりみますと、昭和二十六年に県下七番目の都市として市制を施行してから二十五年の歳月がたち、今日の発展を思いますに、深い感慨の念がございます。

この間、市行政も、市議会および市民のみなさんのご協力により順調に伸展してきたことに対し、心から感謝を申しあげます。

さて、昨年は政治、経済ともに激動と波乱にみちた年でありました。なかでも、インフレ、不況によるヒズミは、国の総需要抑制策となって、地方自治体の財政に大きな打撃を与えました。この全国的な財政危機は、新津市財政をも大きく圧迫して、きわめて軽視できない状態においこまれたのであります。

しかし、このようなときこそ、わたくしは、より一層市政の総力をあげて、市民生活を徹底的に防衛し、郷土を守り育て、各種制度、施設にわたる社会福祉の充実をはかり、自治体本来の機能を全とうするよう、全力をつくす決意を新たにしているところです。

市制二十五周年を迎えるにあたり、記念すべき今年は、いろいろな事業を計画中であり、市議会、市民のみなさんのご協力を得ながら、昨年の不況をふきとばし、一層の飛躍発展を期したいと考えております。

どうか市民各位におかれましても、十分ご理解、ご賛同のうえ、絶大なるご協力、ご支援をお願い申しあげます。

年頭にあたり、市勢の限りなき伸展と、市民のみなさんのご繁栄を心からお祈りして、ごあいさつといたします。

昭和五十一年元旦

新津市長　志田　保

賀　ぴ

新たな決意で市民の付託に

市民のみなさん、あけましておめでとうございます。

ここに希望に満ちた新春を迎えるにあたり、みなさんのご清福とご繁栄を心からお祝い申しあげます。

私は、昨年の五月統一地方選挙後の市議会において、はからずも議長の要職につき、その重責を痛感し、新たな決意で、円満な議会運営と市政の伸展を第一に、誠心誠意努力してまいりました。おかげをもちまして、大過なく越年することができましたことを、衷心よりお礼申しあげます。

願みますと、本年は、新津市が市制施行二十五周年の輝かしい歴史をつくり、都市として着実に躍進をつづけておりますことは、ひとえに、市民各位の市政に対する深いご理解とご協力のたまものと、心から感謝の意を表する次第であります。

本年もまた、皆さんの創意と活力の結集を得て、市勢の〝そうの伸展を切望するものであります。

しかしながら、近時、地方自治体の財政は、経済環境の悪化による影響をうけて、きわめて困難な局面に立ちいたっておりますが、このときにあたり、私ども市議会は、決意を新たにして終始公正に市政の諸問題にとりくみ、市民各位の付託に応えるよう、最大の努力をいたす所存であります。

どうか、かわらぬご指導とご鞭撻をお願い申しあげますとともに、みなさんのご多幸を心からお祈りいたしまして、ごあいさつといたします。

昭和五十一年元旦

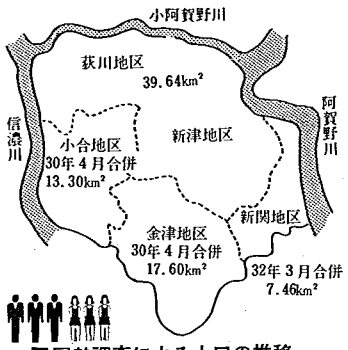
新津市議会議長　小林富則

お買物、ご用命は市内で

謹賀新年
駅前 八百勘
TEL (3)1361

花椿会にお入りください。
資生堂チェインストア
本町2丁目 マツヤ TEL (2)0418
第四銀行が向い。北越銀行がとなり

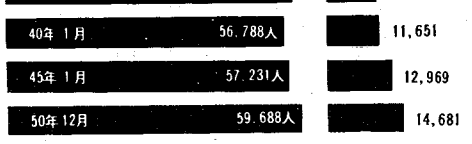
市制施行二十五周年 記念事業を計画中です



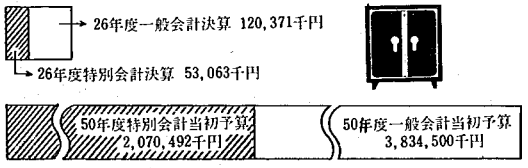
■国勢調査による人口の推移

年次	世帯数	人口	人口密度（一平方キロ当たり）
大正9年	2,811	15,677	1,081
〃 14年	3,726	19,151	783
昭和5年	3,769	20,576	845
〃 10年	3,933	21,822	896
〃 15年	5,075	29,194	749
〃 20年	6,552	35,178	903
〃 22年	6,633	36,053	925
〃 25年	6,889	37,370	959
〃 30年	9,808	55,599	712
〃 35年	10,860	56,110	719
〃 40年	11,921	56,594	726
〃 45年	13,059	57,089	732
〃 50年（概数）	14,478	58,970	756

■住民登録人口にみるうごき



■財政



市制を施行してから二十五周年を迎えた新津市では、今年を特に意義深いものにするため、いま、実効の伴う記念事業を実施すべく、市民の参加を求めて、具体的な計画の検討を進めています。それも形式にとらわれることなく、また、単発的なその場限りの事業をさけ、将来の市の発展につながるものを、との方針で、次のようないくつかの事業（案）にしぼり、その内容や方法、実効性などの検討とあわせ、早急に実施事業をきめることにしています。きまった事業については順次紙上で紹介していきますが、いずれも四月以降の気候のよい時期に実施する予定です。

なお今号は、市制施行記念特集号として二十五周年の幕明けを飾ることにしました。

二十五周年を契機として将来にむけ制度化、または永続させる事業（案）

⊙青年、婦人派遣研修
青年、婦人を毎年定期的に先進地へ派遣し、見聞を広め、交流を深める機会の提供を制度化するもの

⊙奨学基金制度
すぐれた能力を持ちながら、家庭や経済的事情で進学困難な生徒に対して、奨学金給付を制度化するもの
そのため、教育に理解を持つ市民、篤志家から基金をつのり、市と市民一体の基金を創設して人材育成をはかる

⊙市民憲章の制定、または都市宣言
将来にむけて、すべての市民が共鳴し、協力し合いながら、心豊かな住みよいまちづくりへの実践に結びつき、心がけていける憲章、あるいは宣言を市民参加で起草、制定したいということ

⊙姉妹都市の選定、提携
たとえば、花木や八珍柿の販路拡張など、産業振興の視点での姉妹都市提携により、両都市の人的、物的交流をはかるなど、五十一年中をメドに相手都市との相互選定を進めること

⊙緑化推進
市、民間団体、一般市民の緑化意欲を組織化して、公園その他の公共用地をはじめ、市内の緑化推進をはかりたい

単年度の記念事業（案）

⊙作文、論文、創造画などの募集
未来の新津、新しい都市づくり、ぼくらの夢、などのテーマで、学生、生徒、一般市民から作文、論文、創造画などを公募し、市の将来計画（後期）策定に役立てたい。

⊙グラフ新津（仮称）の発刊
今昔の写真を中心に、新津市発展の状況を対比できる記録の発行

⊙記念式典
四月中旬をメドに、以上の事業（案）の中の制度化するものなどを中心に、一般市民の参加による式典を行う予定

お買物、ご用命は市内で

謹賀新年
胃腸・皮膚・肛門(ぢ)・泌尿・X線
山田外科医院
新町2丁目1—6 TEL(2)0432
小出医院 森川医院 駅 至水原 大坂医院 小林歯科 山田外科